

平成30年度津市立上野小学校経営方針

学校教育目標

心豊かに たくましく 生きる子ども

<学校の現状>

子どもたちは明るく元気で、与えられた課題や学校行事、諸活動に真面目に意欲を持って取り組む。
自分の思いや考えを人に伝えたり話したりすることに消極的であり、友達同士のつながりが薄い傾向にある。
保護者や地域住民は温厚で、学校教育に対して協力的である。
社会状況の変化等により、様々な課題を抱え、支援を必要とする家庭が存在する。

<めざす子ども像>

進んで学ぶ子ども
心豊かな子ども
たくましく生きる子ども

<めざす学校像>

子どもたちにとって、今日が楽しく明日が待ち遠しい学校
保護者や地域に信頼され、親しみが感じられる学校
教職員がやりがいを感じられる学校

<具体的な取り組み>

組織的に子どもたちを支援する

日常的に、職員全体で子どもたちの情報交換をする雰囲気をつくる。

生活のきまりについて、職員全体で共通理解を図るとともに、ブレのない指導に努める。

定期的に生徒指導委員会や特別支援教育委員会等を開催し、きめ細かく子どもたちを支援する体制について点検し、よりよい体制づくりを推進する。

常に職員同士が支え合うよう心がけ、総勤務時間の縮減を図る。

深く子どもたちを支援する

担任を中心に、子どもたちの実態を把握し、職員全体で、子どもたちの指導にあたる。

子どもたちが自分の思いを伝え合い重ね合わせようとする仲間づくりを進める。

各教科・領域を通して、自分の考えを言葉や文で表現できる力を高める。

様々な行事や活動において、子どもたちの思いや考えを伝え合えるような場づくりに努める。

広く子どもたちを支援する

各種の便りを定期的に発行するなどして、担任等の思いや願いを広く伝える。

ゲストティーチャーを招いた学習を積極的に実施するとともに、その人の生き方や思いに出会わせるよう心がける。

日常的な保護者とのコミュニケーションを大切にし、より深い信頼関係を構築するように努める。

学校、保護者、地域、関係機関が連携して子どもたちを支援するネットワークづくりを推進する。